

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2010
課題番号：19560659
研究課題名（和文） 北海道の近代以前における和人とアイヌ民族の建築活動に関する研究
研究課題名（英文） Building Activities of Wajin(Japanese) and Ainu in Ezo-chi
(Hokkaido Island) during the Early Modern Age
研究代表者
小林 孝二 (KOJI KOBAYASHI)
北海道開拓記念館 学芸部 研究員
研究者番号： 80142090

研究代表者の専門分野：工学
科研費の分科・細目：建築学、建築史・意匠
キーワード：建築史

1. 研究計画の概要

本研究は、近代以前におけるアイヌと和人の建築活動を総合的に研究することによって、北海道の建築・民家に関する歴史研究全体を、日本における建築史・民家研究史の中に正当に位置づけるための基礎的研究とする事を大きな目的としている。

具体的には以下の点を解明することを目的とする。

- (1) 既往研究・研究蓄積を踏まえて、アイヌの建築文化を建築史の立場から系統的に再整理し、その変遷史を解明する。
- (2) 主に文書資料から近世期の和人による建築活動の変遷を系統的に整理し、近代以前の北海道における和人の建築活動の実態を解明する。
- (3) 前記、1,2の研究をふまえて、従来、個別に考えられてきた北海道における近代以前のアイヌと和人の建築活動・建築文化について、あらためて同時代の本州文化、あるいは周辺諸国を加えた「関係史」の中で捉え直し、系統的に整理し、考察することで北海道の近代以前における建築文化の歴史を解明する。

2. 研究の進捗状況

本研究で研究計画に掲げた課題の内、2009年度までに得られた成果の概要は、以下のとおりである。

(1) アイヌの建築文化変遷史の解明

平成8年度以降継続してきた「アイヌ民族の住居（チセ）の成立と変遷過程に関する研究」によって得られた研究成果・蓄積を基礎に、その成果を再整理し、さらに近代以降の民俗事例についても調査を進め、擦文文化からアイヌ文化への移行過程およびその後の

近世期末に至る建築文化の変化を系統的に明確化し、研究成果の公表をおこなった。

(2) 和人の建築活動の実態解明

おもに文書資料から、近世期の和人による建築活動に関わる史料の収集整理を進め、中でも、前幕領期の東蝦夷地における会所・運上屋・番屋・倉などの規模・構造など和人の具体的な建築活動の実態を解明し、研究成果を公表した。一方、和人の建築活動を示す史料として有力と考えられる卷子本（絵巻物）については、その所在確認にとどまり、今後その内容調査が必要である。

(3) アイヌ・和人の建築活動と本州文化・周辺国との関係史

本州文化については、草戸千軒遺跡（福山）、一乗谷朝倉家遺跡（福井）、海外の事例については、アイヌとの比較の視点から、赫哲族（ホジェン）の建築文化との比較検討を現地調査を踏まえておこなった。今後、それらの地域の比較検討を進め関係史としての分析を進める必要がある。

3. 現在までの達成度

当初研究目的に対する自己点検による達成度は、全体的には②おおむね順調に進展しているが、以下に示す点については③やや遅れている。と自己評価する。

具体的には、前記した研究の進捗状況の用に、当初設定した研究の目的をほぼ達成しつつあると考えるが、一方、和人の建築活動に関する史料については、研究当初から懸念されたことではあったが、地域的分散、史料毎の量・質の差が大きいことなどが明確となり、史料の収集・分析が当初予定にくらべて若干遅れている。

4. 今後の研究の推進方策

今後は、研究・分析が若干遅れている和人の史料を中心に研究を加速し、当初の研究目的を達成したいと考えている。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5件)

- ① 小林孝二・大垣直明、アイヌ文化期の平地住居跡に関する基礎的研究－発掘資料から見たアイヌ民族住居の寸法体系に関する考察－、日本建築学会計画系論文集、第615号、PP. 191－198、2007、査読有
- ② 小林孝二・大垣直明、近代以前の絵画資料と発掘資料から見たアイヌ民族の住居に付属する建物に関する基礎的研究－熊檻と倉を中心とする住居に付属する建物の特徴－、日本建築学会計画系論文集、第619号、PP. 157－164、2007、査読有
- ③ 小林孝二、中国赫哲族の建築文化と旧731部隊官舎群遺構調査、北海道開拓記念館「北方の資源をめぐる先住者と移住者の近現代史」－2005－07年度調査報告－、PP. 183－194、2008、査読無
- ④ 小林孝二、前幕領期の東蝦夷地各場所における建築活動－『東蝦夷地各場所様子大概書』および『東行漫筆』から見た倭人の建築活動－、北海道開拓記念館研究紀要、第37号、PP. 83－94、2009、査読無
- ⑤ 小林孝二、北海道近代住宅史の再検討、「北方の資源をめぐる先住者と移住者の近現代史」北方文化共同研究報告－、PP. 141－156、2010、査読無

[学会発表] (計 2件)

- ① 羽深久夫・小林孝二他4名、北海道における近代和風建築の特徴、日本建築学会北海道支部研究報告集、No.81、PP. 373－380、2008・6、査読無

[図書] (計 2件)

- ① 小林孝二、アイヌ文化成立期から近世期末におけるアイヌ民族の建築に関する研究、私家版、230P、2008・3、学位(博士)請求論文
- ② 小林孝二、アイヌの建築文化再考－近世絵画と発掘跡からみたチセの原像－、北海道出版企画センター、289P、2010・2

[産業財産権]

○出願状況 (計 0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況 (計 0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

[その他]